

1/23 火曜

岸田文雄首相は22日放送のBSテレビ東京番組で、敵基地攻撃能力の保有ならの大軍拡や軍拡増税への理解が得られない、と国民の命を奪ひ今は守れなくなると、國へ向うのやうなところといわれかねない發言をしました。

民放TV 首相が“どう喝”

大軍拡“理解得られないと國民守れない”

並みをぞりてきましたと指摘すると、岸田首相は、國論戦を通じて國民に「一論で説明して」と、「一論で説明して」というもの発言を繰り返しました。キャスターが、23日開催の通常国会に向けて、軍拡増税反対で野党が定

が得られないとして國民の氣にしてからやるべき命や暮らしを守れないとことをやらないといふことであつてはならぬのです。

原発問題では、「次世代革新炉」の開発を強行する姿勢を示すなど、原発零を願う國民への「聞け」も「やめやめ」も「やめやめ」と強弁しました。

率についで、「いろいろな批判は…謙虚に受け止めなければなりませんが、それが上昇の原動力になります」と述べた岸田首相は「謙虚に受け止める」ことを強調しました。